



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東
 コード番号 4952 URL <http://www.sdsbio.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寒河江 充宏
 問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部長 (氏名) 深澤 良彦 TEL 03-5825-5511
 四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,837	△2.5	64	△78.7	449	46.8	493	672.7
2019年3月期第2四半期	4,960	—	301	—	306	—	63	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	63.06	—
2019年3月期第2四半期	8.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,802	6,158	48.1
2019年3月期	13,659	5,822	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,158百万円 2019年3月期 5,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2020年3月期	—	12.50			
2020年3月期(予想)			—	12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,550	17.0	1,110	12.8	1,430	41.7	1,110	183.7	141.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,830,925株	2019年3月期	7,830,925株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	72株	2019年3月期	51株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,830,858株	2019年3月期2Q	7,830,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における我が国の経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済においても景気の緩やかな回復が続いておりますが、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

農業を取り巻く環境は、世界的には人口増加や新興国の経済成長等に伴って農作物需要が拡大しており、中長期的にも成長が継続するものと思われまます。一方で、世界農薬市場においては海外大手農薬メーカーの大型合併や事業売却が進んでおり、農薬市場における影響を注視していく必要があります。

このような中、当社の状況は、横浜工場原体製造設備の稼働を再開したことで、海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が増加いたしました。また、当上半期は横浜工場の安全体制の確認のため一部稼働を抑えて運転していたこと及び第2四半期会計期間までは閑散期にあたることから、当第2四半期累計期間の売上高は48億37百万円(前年同四半期比1億23百万円減)、営業利益は64百万円(前年同四半期比2億37百万円減)となりましたが、中国の関連会社からの受取配当金を計上したことで、経常利益は4億49百万円(前年同四半期比1億43百万円増)、四半期純利益は4億93百万円(前年同四半期比4億29百万円増)となりました。

当社の販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第3四半期会計期間(10月1日から12月31日まで)、第4四半期会計期間(1月1日から3月31日まで)に売上が集中する傾向にあります。

当社は農薬事業セグメントのみの単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すために品目別に販売実績を記載いたします。

(殺菌剤)

当第2四半期累計期間における売上高は15億70百万円(前年同四半期比5億20百万円増、49.5%増)となりました。これは主に、横浜工場原体製造設備の稼働再開により、海外向けダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が増加したことによるものです。

(水稲除草剤)

当第2四半期累計期間における売上高は15億81百万円(前年同四半期比17百万円増、1.1%増)となりました。これは主に、韓国向けベンゾピシクロン原体の出荷時期ずれによる減少が生じたものの、北米及び中国向けベンゾピシクロン原体の出荷が好調に推移していることによるものです。

(緑化関連剤)

当第2四半期累計期間における売上高は10億28百万円(前年同四半期比1億79百万円減、14.8%減)となりました。これは主に、昨年の工場事故の発生により前上半期に早期引き取りが生じた国内向けダコグリーン顆粒水和剤の出荷調整と、海外向けダクターン原体の出荷時期ずれによるものです。

(殺虫剤)

当第2四半期累計期間における売上高は2億58百万円(前年同四半期比80百万円減、23.8%減)となりました。これは主に、D-D関連剤の出荷が減少したことによるものです。

(その他)

当第2四半期累計期間における売上高は3億98百万円(前年同四半期比4億円減、50.1%減)となりました。これは主に、ダコニール原材料の出荷が減少したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末(2019年9月30日)における総資産は128億2百万円であり、前事業年度末(2019年3月31日)と比べて、8億56百万円の減少となりました。

流動資産は80億92百万円であり、前事業年度末と比べて1億52百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の増加2億30百万円、売掛金の減少8億74百万円、たな卸資産の減少2億62百万円、前払費用の増加3億37百万円、その他流動資産の増加4億29百万円があったためです。

固定資産は47億10百万円であり、前事業年度末と比べて7億3百万円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の減少9億69百万円、投資有価証券の評価替えによる減少85百万円があったためです。

流動負債は33億25百万円であり、前事業年度末と比べて5億11百万円の減少となりました。これは、主に買掛金の減少67百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億84百万円、未払金の減少3億3百万円、未払費用の減少1億17百万円があったためです。

固定負債は33億18百万円であり、前事業年度末と比べて6億80百万円の減少となりました。これは、主に長期借入金の減少6億44百万円があったためです。

純資産は61億58百万円であり、前事業年度末と比べて3億36百万円の増加となりました。これは、主に剰余金の配当による減少97百万円と四半期純利益の計上4億93百万円、その他有価証券評価差額金の減少59百万円があったためです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の回収、たな卸資産の減少などにより5億53百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは17億53百万円の資金収入(前年同期の営業活動におけるキャッシュ・フローは2億89百万円の資金収入)となりました。主な内訳は、税引前四半期純利益の計上6億69百万円、売上債権の回収8億87百万円、たな卸資産の減少2億62百万円、利息及び配当金の受取額88百万円によるものです。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動におけるキャッシュ・フローは5億94百万円の資金支出(前年同期の投資活動におけるキャッシュ・フローは2億67百万円の資金支出)となりました。主な内訳は、短期貸付による支出4億53百万円、有形固定資産の取得による支出1億39百万円によるものです。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは9億26百万円の資金支出(前年同期の財務活動におけるキャッシュ・フローは10億95百万円の資金支出)となりました。主な内訳は、長期借入金の返済8億28百万円、配当金の支払97百万円によるものです。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、2019年4月25日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,776	553,943
受取手形	648	324
売掛金	2,872,527	1,997,607
商品及び製品	3,768,579	3,428,080
仕掛品	8,521	4,345
原材料及び貯蔵品	646,442	728,706
前払費用	160,722	497,801
未収入金	408,296	396,237
その他	55,342	484,969
流動資産合計	8,244,855	8,092,014
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,115,349	923,030
構築物(純額)	194,721	104,332
機械及び装置(純額)	905,579	198,236
車両運搬具(純額)	5,427	7,100
工具、器具及び備品(純額)	89,428	86,506
土地	891,545	891,545
建設仮勘定	13,268	35,245
有形固定資産合計	3,215,320	2,245,996
無形固定資産		
ソフトウェア	31,062	25,000
その他	2,389	2,389
無形固定資産合計	33,451	27,390
投資その他の資産		
投資有価証券	750,638	664,693
関係会社株式	846,332	846,332
長期前払費用	3,143	2,230
繰延税金資産	517,718	544,035
長期未収入金	—	331,895
その他	47,699	48,319
投資その他の資産合計	2,165,533	2,437,507
固定資産合計	5,414,306	4,710,894
資産合計	13,659,161	12,802,908

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	608,297	540,453
1年内返済予定の長期借入金	1,597,500	1,412,900
未払金	681,347	377,702
未払費用	715,246	597,469
未払法人税等	102,000	216,741
賞与引当金	122,685	137,176
預り金	4,166	9,387
その他	6,505	34,090
流動負債合計	3,837,749	3,325,921
固定負債		
長期借入金	3,851,000	3,206,850
退職給付引当金	137,816	102,238
その他	10,473	9,424
固定負債合計	3,999,290	3,318,513
負債合計	7,837,039	6,644,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,360	810,360
資本剰余金		
資本準備金	77,527	77,527
利益剰余金		
利益準備金	183,200	183,200
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,522,200	4,918,198
利益剰余金合計	4,705,400	5,101,398
自己株式	△49	△67
株主資本合計	5,593,238	5,989,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	228,884	169,255
評価・換算差額等合計	228,884	169,255
純資産合計	5,822,122	6,158,473
負債純資産合計	13,659,161	12,802,908

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
商品売上高	32,849	32,318
製品売上高	4,928,142	4,805,084
売上高合計	4,960,991	4,837,403
売上原価		
商品期首たな卸高	10,015	17,175
製品期首たな卸高	3,556,116	3,751,403
当期製品製造原価	3,664,474	3,228,889
当期商品仕入高	40,256	15,992
合計	7,270,863	7,013,461
商品他勘定振替高	10	107
製品他勘定振替高	7,454	255,192
商品期末たな卸高	22,920	6,240
製品期末たな卸高	3,937,613	3,421,840
売上原価合計	3,302,864	3,330,080
売上総利益	1,658,126	1,507,322
販売費及び一般管理費	1,356,486	1,443,205
営業利益	301,640	64,116
営業外収益		
受取利息	780	637
受取配当金	27,430	434,520
為替差益	11,726	—
その他	2,735	1,471
営業外収益合計	42,672	436,629
営業外費用		
支払利息	16,134	14,649
廃棄物処理費用	21,700	—
為替差損	—	36,200
その他	0	0
営業外費用合計	37,834	50,850
経常利益	306,479	449,896
特別利益		
固定資産売却益	—	299
受取保険金	—	1,154,401
特別利益合計	—	1,154,701
特別損失		
火災損失	207,119	—
固定資産除却損	3,245	—
固定資産圧縮損	—	935,377
特別損失合計	210,365	935,377
税引前四半期純利益	96,113	669,220
法人税、住民税及び事業税	32,198	191,206
法人税等還付税額	—	△15,871
法人税等合計	32,198	175,335
四半期純利益	63,915	493,884

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	96,113	669,220
減価償却費	76,405	102,616
固定資産除却損	3,245	—
固定資産圧縮損	—	935,377
固定資産売却益	—	△299
受取保険金	—	△1,154,401
火災損失	207,119	—
廃棄物処理費用	21,700	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,066	14,491
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,898	△35,577
受取利息及び受取配当金	△28,211	△435,158
支払利息	16,134	14,649
為替差損益(△は益)	△5,293	16,293
売上債権の増減額(△は増加)	692,019	887,302
たな卸資産の増減額(△は増加)	△435,800	262,410
仕入債務の増減額(△は減少)	95,601	△67,844
未払費用の増減額(△は減少)	△164,537	△118,663
その他の資産の増減額(△は増加)	44,867	△319,193
その他の負債の増減額(△は減少)	△141,946	△183,844
小計	456,248	587,379
利息及び配当金の受取額	28,167	88,959
利息の支払額	△16,870	△14,904
火災事故に伴う支出額	△183,835	—
保険金の受取額	—	1,154,401
法人税等の還付額	7,430	15,871
法人税等の支払額	△1,297	△78,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,842	1,753,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△265,989	△139,243
有形固定資産の除却による支出	△1,904	—
固定資産の売却による収入	—	300
無形固定資産の取得による支出	△2,200	△2,190
短期貸付金の回収による収入	2,717	—
短期貸付けによる支出	—	△453,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,375	△594,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	121,205	—
長期借入金の返済による支出	△1,118,200	△828,750
配当金の支払額	△98,056	△97,818
自己株式の増減額(△は増加)	△1	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,095,052	△926,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,293	△2,035
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,067,291	230,166
現金及び現金同等物の期首残高	1,501,327	323,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,036	553,943

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。